

行政報告

令和4年第4回定例会

市制施行50周年記念事業がスタート 大型連休の入り込み客数が約60%増 プレミアム付き商品券4億4千6百万円分発行

令和4年第4回鹿角市議会定例会が6月3日から21日間の会期で開かれました。初日に行われた市長の行政報告の概要は次のとおりです。

■市制施行50周年記念事業

50周年記念事業として、5月12日に、NHK秋田放送局との共催で「新・BS日本のうた」公開収録を文化の交流館コモッセで開催しました。また、思いを込めたメッセージパネルと一緒に写真を撮影する「メッセージフォト」を7月末まで募集しているほか、鹿角の風景・行事などの写真を募集する「私が切り撮る鹿角・フォトコンテスト」を8月末まで行っています。さらには、広報かづの6月号とともに、50周年記念統一ロゴマークシールを全戸に配布しました。

今年度は、年間を通して、市民の皆さんと共に記念すべき50周年を祝いたいと考えています。

ので、ぜひ記念事業にご参加ください。

■市発注工事官製談合事件

外部有識者から成る第三者委員会による入札制度の検証と再発防止策の調査検討が進められ、先月開催された第4回会議において、まとめられた最終報告書が提出されました。

また、第三者委員会での検討と並行して、入札制度の見直しも行っており、最低制限価格の設定は、開札直前に無作為に抽出した係数を使用する方法に改め、情報漏えいなどの不正を未然に防ぐ改善策を講じています。

■令和3年度ふるさと鹿角応援寄附

件数が1万6343件、金額が2億3297万8763円で、ともに過去最高となり、前年度と比べて、件数で4%の増、寄附額で17%の増となりました。

返礼品では、先行予約や定期便をはじめた米のほか、キャンプ人気などを背景として需要が増えた薪などが増加しています。引き続き、本市の特産品を全国にPRし、より多くの方々から応援いただけるよう取り組んでいきます。

■移住の促進

令和3年度の移住実績は36世

帯62人で、平成27年度から毎年増加しています。世代別では、40代までの比較的若い世代の移住が約9割を占めています。また、5月2日に秋田市出身の女性1名が移住コンシェルジュとして着任し、移住コンシェルジュは2人体制となりました。今後、さらに1人を募集し、3人体制で移住に関する積極的な情報発信やNPO法人と連携したきめ細かなサポート体制の充実を図りながら、移住の取り組みを促進します。

■地域医療の推進

かづの厚生病院の精神科常勤医師が、今年3月末で退職することに伴い、非常勤医師による週3日程度の診療体制になるこ

とが発表されていましたが、岩手医科大学から毎週火曜日に医師が派遣され、現在は、週4日程度の外来診療を行っています。

近年、社会情勢の変化により、これまでも増して精神科の必要性が高まっていますので、引き続き、かづの厚生病院や医師確保に取り組まれている市民団体の関係者とともに、地域医療体制の充実に取り組んでいきます。

■大型連休中の入り込み状況

3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークとなり、観光施設では前年比149.7%、宿泊者数も159.8%と、大幅な回復が見られています。連休中盤の4月30日から5月4日までは、悪天候によるアスピーテラインの通行止めの影響で、八幡平山頂とビジターセンターの入り込みが低調でしたが、市内の2つの道の駅で開催されたイベントなどが、県内外からの観光誘客につながっています。今後、3年ぶりに開催される夏祭りシーズンに向けて、情報発信を強化していきます。

■農業の労働力確保

6月1日にJAかづのに開設された農業版の無料職業紹介所を通じて、人材と農家とのマッチングを図りながら、農家の負担軽減と栽培面積の維持拡大を目指していきます。

■鹿角市植樹祭

5月20日に大湯環状列石周辺で、市制施行50周年記念植樹祭を開催しました。例年より植樹面積を拡大し、地元の児童・生徒など約150人の参加者が、450本の苗木を植樹しました。参加者には、ブルーベリー苗木のほか、地元産木材で制

作された、大湯環状列石にちなんだ記念品を贈呈しました。

3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークとなり、観光施設では前年比149.7%、宿泊者数も159.8%と、大幅な回復が見られています。連休中盤の4月30日から5月4日までは、悪天候によるアスピーテラインの通行止めの影響で、八幡平山頂とビジターセンターの入り込みが低調でしたが、市内の2つの道の駅で開催されたイベントなどが、県内外からの観光誘客につながっています。今後、3年ぶりに開催される夏祭りシーズンに向けて、情報発信を強化していきます。

■コロナ禍における経済対策

事業者の事業継続支援と市内経済の回復を図るためのプレミアム付商品券事業では、市内の全ての加盟店で使用できるプレミアム率20%の「つかエール券」と、大型店などを除いた加盟店で使用できるプレミアム率30%の「超つかエール券」に加え、飲食店で使用で

きるプレミアム率50%の「超食エール券」、ハミングカード加盟店で使用できるプレミアム率30%で電子マネー形式の「鹿角プレミアムペイ」の4種類を発行します。4種類を合わせた発行総数は6万2千セットで、4億4600万円分を発行することとし、6月1日から17日までの期間で購入申込を受け付けました。商品券は、7月9日から販売を開始し、来年1月末まで使用が可能です。

■ぐるっとかづの連泊クーポン券

市内宿泊施設に2連泊または3連泊した際に、宿泊料金から1人1泊あたり5千円を割引するクーポンを8500セット発行します。

ウィズコロナ社会を迎え、修学旅行や旅行代理店によるツアーが徐々に再開していることから、今後の観光客数の動向を的確に把握しながら、効果的な取り組みを進めていきます。

■成年年齢引き下げに伴う意識啓発

民法改正により、本年4月から、成年年齢が18歳に引き下げ

られたことから、4月19日に、十和田高校3年生35人に対し、成年として必要な知識や関係法令を学びながら、消費者トラブルの防止につながるための講座を開催しました。8月下旬には、花輪高校で同様の講座を開催する予定で、成年としての意識や教養を高める機会を創出していきます。

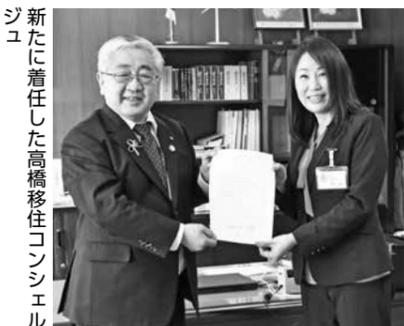
■チャレンジデー2022

5月25日にチャレンジデーが開催され、自治会や保育園、学校、企業、各団体などがさまざまな取り組みを行いました。本市の参加率は22.6%で、対戦相手の群馬県吉岡町の参加率21.9%を上回り、僅差ではありますが、勝利を収めることができました。

チャレンジデーへの参加は、運動不足の解消や自身の健康管理のほか、運動やスポーツに親しむきっかけとなったことから、引き続き、健康づくりやスポーツに親しむ機会を創出していきます。

■総務課行政班

☎30・0203



チャレンジデーのオープニングイベント

十和田高校で行われた成年教育講座

植樹祭で苗木を植樹する児童たち